にしていいでしょうか。

厨子を作ったことは立派ですが、おとめとの約束を破ったことはよくないと思います。

若磨は物語の最初から最後まで「美しいもの」を追求しつづけます。そして、最後には「ほんとうの美」を発見して、どこかへ行ってしまいます。

しかし、美を追求したら、婚約者のことはどうでもいいのでしょうか。私は、美を追求するからといって、婚約者との約束を破る言い訳にはならないと思います。

おとめが主人公ではないのは分かっていますが、あまりにもかわいそうなので、そのことを書きました。

20 × 20